

2024 年 2 月 27 日

2023 年度聖路加国際大学大学院

看護学研究科 修士論文

一般市民における情報評価スキルとその学習機会  
およびヘルスリテラシーとの関連

Information-evaluation Skills and  
Their Relationship to Learning Opportunities and  
Health Literacy in Japanese Adults

22MN006

大石 聖夢

## 要旨

**【目的】** (1)情報評価スキルに関する学習機会として、具体的にどのようなものがあるのかを記述すること、(2)学習機会の違いにより、情報評価スキルに差があるのかを記述すること、(3)情報評価スキルに関する学習ニーズを記述すること、(4)情報評価スキルは、健康に関する情報評価にも活かされているのかを記述すること、(5)ヘルスリテラシーと、健康に関する情報評価スキルおよび意思決定スキルとの関連を記述すること。

**【方法】** インターネット調査会社を介したアンケート調査をおこない、全国の20代から60代からデータを収集した。調査項目の構成は、情報評価スキルの実施状況、情報評価スキルの学習機会、情報評価スキルの学習理由、情報評価スキルの学習ニーズ、意思決定スキルの実施状況、健康に関する情報評価スキルの実施状況、健康に関する情報の利用状況、ヘルスリテラシーおよび基本属性である。情報評価スキルに関する学習機会と学習理由および学習ニーズについては単純集計を行った。情報評価スキルを目的変数とし、学習機会の違いを説明変数とした二元配置分散分析を行った。健康に関する情報評価スキルを目的変数、情報評価スキルを説明変数とした、またヘルスリテラシーを目的変数、健康に関する情報評価スキルと意思決定スキルを説明変数とした、重回帰分析を行った。

**【結果】** 有効回答数は947件だった。情報評価スキルに関して学んだことがある人は約5割であり、学校や職場、家族や友人から学んだ人が多いことが示された。多くの学習機会において情報評価スキルへの主効果が認められ、特に学校や職場の影響が大きいことが示唆された。また、複数の場所で学習した人はスコアが高い傾向がみられた。情報評価スキルと健康に関する情報評価スキルの関連は単相関( $r=.91$ )と重回帰( $\beta=.91$ )ともに強かった。ヘルスリテラシーとの関連は、情報評価スキル( $r=.20$ )よりもわずかに健康に関する情報評価スキル( $r=.24$ )のほうが強かった。情報評価スキルについて、全体の約6割が学習意欲を示した。

**【結論】** 情報評価スキルは、その学習機会の有無が顕著に影響しており、学校や職場を中心とした逐次的な学習を行った人は、スコアが高い傾向が観察された。人々の学習意欲は高く、学校教育終了後も学習できる環境を整備することが望まれる。

ヘルスリテラシーの向上に向けて、一般的な情報評価スキルに加え、健康に関する情報を評価する際のポイントを含んだ学習を広く普及させることが、効果的なアプローチである可能性がある。